

食と栄養の視点からヘルスケア・イノベーションに挑戦!

「国民健康・栄養調査」(厚生労働省、平成27年)によると、65歳以上で16.7%、80歳以上では2~3割が**低栄養**傾向と示されています。自分の体を守る意味で栄養が重要なことは誰もが知っていても、それをプロフェッショナルから指導を受けようという感覚がありません。それは、高齢になっても一緒です。

病気になったら病院で医療を受けてお金を払うということは当たり前を考えていても、病気になる前に、栄養士にお金を払って指導を受けるということを考える人はいません。

そういった社会に一石を投じ、**食と栄養の視点からソーシャルヘルス・イノベーションに挑戦**する方に今回はスポットをあて、応援していきたいと思っております。

■プログラム

(16:00~16:40)

くすのき健康栄養センターの挑戦! 食からアプローチするソーシャルヘルス (仮称)

大谷 幸子 氏 (大阪樟蔭女子大学 くすのき健康栄養センター センター長)

(16:40~17:00)

新たな地域食支援ビジネスモデルとエリアマネジメント

◇進行
卯津羅 泰生 (健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス 事業化グループ 連携促進コーディネーター)

◇コパースン
大谷 幸子 氏 (大阪樟蔭女子大学 くすのき健康栄養センター センター長)

【日程】 8月21日(火) 16:00~17:00

【場所】 iKAfE (健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス 三宮拠点)
兵庫県神戸市中央区雲井通5-3-1
サンバル7階
[JR三ノ宮駅、東口徒歩3分]

【参加費】 無料

定員:20名

(注)事前申込制定員になりしだい締め切らせていただきます。

■主催
健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス

■お問い合わせ & お申込み先 ★メールでお願いいたします。

※なお、メールには、御氏名、御所属、御連絡先電話番号を必ずご記入ください。
健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス 三宮拠点 iKAfE 卯津羅(ウツラ)
E-Mail : rc-ikafe-info@ml.riken.jp

